

作品募集



25

1_WALL

GRAPHICS:

call
for
entry

MAR. 28-

APR. 1

グラフィック
部門:
作品応募受付
3/28(月) -
4/1(金)



Guardian
Garden

RECRUIT

写真部門:
作品応募受付
6/6(月) -
6/10(金)

PHOTO-
GRAPHY:

JUN. 6-

2022

10

<http://rec.recruit.co.jp/gg/>

「1_WALL」は、新しい表現を追求し続けている若い才能を発掘することを目的としたコンペティションです。ポートフォリオ審査、ポートフォリオレビュー審査、公開プレゼンテーションという3回の審査で、グランプリが選出されます。グランプリ受賞者には1年後のガーデン・ガーデンでの個展開催と、個展制作費30万円の支給が約束されます。表現がますます多様化し、ジャンルの境界も曖昧になってきている現在。「1_WALL」は、流行りに流されず、独自の作品を作りつづける人たちと、新しい表現を考える場です。5年後、10年後を見てみたくなるような、可能性をもった人たちの作品を求めています。

第25回「1_WALL」 作品募集 グラフィック／写真



グラフィック部門

グラフィックデザイン、
イラストレーション、
タイポグラフィ、
オブジェなど、

絵・図・文字・記号・写真など
の視覚要素で構成された作品

写真部門

カメラを介して
写し撮った
あらゆる
写真
または
映像作品

・応募規定

テーマ、手法は自由。指定のスペースに展示可能な作品。
他のコンテストで受賞したものと及びまだ結果の出ていない応募中のものは、応募作品として受け付けられません。判明次第、審査の対象から外させていただきます。但し、これまでの活動の紹介としてはポートフォリオに含めていただいても構いません。

・展示スペース

壁面＝縦約2.5m×横約3.85m、奥行き＝0.9m以内、重さ＝壁面15kg・床上50kgまで。
但し、作品は縦2.1m×横0.8mの搬入口より搬入可能な状態であること。

・応募資格

年齢35歳以下、個人制作であること。

・出品料

無料

・提出物

ポートフォリオのオンライン提出

提出方法はオンラインのみとなります。応募エントリー後、
応募マイページよりポートフォリオの登録をお願いします。

・応募方法

最初にウェブサイトで応募エントリーをしてください。応募マイページを通して審査の連絡や結果の通知を行います。詳細はガーデン・ガーデンのウェブサイトの「応募要項」をご確認ください。

<http://rcc.recruit.co.jp/gg/>



・結果発表及び作品返却について

一次審査通過者にも、二次審査の5日前までにご連絡いたします。また、二次審査通過者には、ポートフォリオレビュー終了後1週間以内にご連絡いたします。また、一次審査通過者、二次審査通過者とも、ウェブサイト、SNSにてお名前を発表いたします。審査結果に関する個別のお問い合わせには、お答えできかねますのでご了承ください。

「1_WALL」審査の流れ

1 作品応募受付

グラフィック部門 2022年3月28日(月)－4月1日(金) 19:00まで
写真部門 2022年6月6日(月)－6月10日(金) 19:00まで

2 一次審査 ポートフォリオ審査

入選者20名を決定。応募者には審査員からのコメントをお送りします。
(応募者多数の場合は事務局にてコメント送付者を選考します。)



3 二次審査 ポートフォリオレビュー審査

オンラインで審査員と1対1で行うポートフォリオレビュー審査でファイナリスト5名を決定。
グラフィック部門 2022年4月18日(月) [予定]
写真部門 2022年7月5日(火) [予定]



4 「1_WALL」展 ファイナリスト5名によるグループ展

グラフィック部門 2022年6月28日(火)－7月23日(土) [予定]
写真部門 2022年8月23日(火)－9月17日(土) [予定]



5 公開最終審査 グランプリ1名決定

「1_WALL」展会期中、グランプリを選出するための最終審査を行います。ファイナリストは展示作品とグランプリを受賞した際の個展プランについて、公開の場でプレゼンテーションしていただきます。ポートフォリオ、展示作品、プレゼンテーションの3要素を基に審査を行い、審査員の議論を経てグランプリが決定します。

6 グランプリ個展 + 制作費30万円

グランプリ受賞者は「1_WALL」展の約1年後にガーデン・ガーデンで個展を開催することができます。個展会場を無料貸与し、制作費として30万円を支給、チラシ制作などの広報もサポートします。
第25回「1_WALL」グランプリ受賞者個展 2023年4-6月 [予定]

グラフィック部門審査員



上西祐理 アートディレクター／グラフィックデザイナー
1987年生まれ。東京都出身。2010年多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業。同年電通入社。2021年独立。今までの仕事に、世界卓球2015ポスター／テレビ東京、Laforet GRAN BAZAR 2019 SUMMER / Laforet など。趣味は旅と雪山登山。旅は42カ国達成。



田中良治 ウェブ・デザイナー
1975年三重県生まれ。2003年にセミトランスベアレント・デザイン設立。主な活動に「tFont/tTime」(YCAM)、「光るグラフィック展1,2」(クリエイションギャラリーG8)の企画、退屈展 (ggg) がある。



長崎訓子 イラストレーター
1970年東京生まれ。多摩美術大学染織デザイン科卒業後イラストレーターとして書籍の装画や挿絵、映画に関するエッセイ、漫画の執筆など多方面で活動中。装画に「武士道シックスティーン」「億男」など。女子美術大学ヴィジュアルデザイン専攻准教授。



服部一成 グラフィックデザイナー
1964年東京生まれ。東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。ライトバプティシティを経てフリーランス。おもな仕事に、雑誌「流行通信」[here and there]「真夜中」、エルメス「夢のかたち」[petit hのオブジェたち]のアートディレクション、「弘前れんが倉庫美術館」のVI計画など。



室賀清徳 編集者
1975年新潟生まれ。グラフィック社編集部、グラフィックデザイン、タイポグラフィ、視覚文化についての編集、執筆、教育活動を行う。「The Graphic Design Review」(JAGDA) 編集長。前「アイデア」編集長。

※: 北村みなみ

写真部門審査員 (五十音順・敬称略)

小原真史 キュレーター

東京工芸大学准教授。IZU PHOTO MUSEUM 研究員として荒木経惟展、宮崎学展、増山たつ子展などを担当。そのほか「イツ・ア・スモールワールド：帝国の祭典と人間の展示」展がある。監督作に「カメラになった男 写真家平中卓馬」。重森弘隆写真評論賞、日本写真協会賞賞状などを受賞。



須山悠里 デザイナー

1983年生まれ。主な仕事に、エレノ・フライス「エレノの日記」(アダチプレス)、鈴木理策「知覚の感光紙」(赤々舎)、「長島有里枝 そしてひとつまみの皮肉と、愛を少々。」(東京都写真美術館)、「マーク・マンダース ― マーク・マンダースの不在」(東京都現代美術館) など。



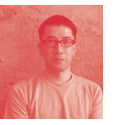
高橋朗 PGIギャラリーディレクター

1976年千葉県生まれ。平木収氏に師事。在学中、東川町国際写真フェスティバルにボランティアとして参加。2003年から2010年まで同フェスティバル現場制作指導/アシスタントディレクターを務める。1998年からPGIにて写真の保存・展示業務に携わる。現在PGIのディレクターとして展覧会の企画運営を担当。



津田直 写真家

1976年生まれ。世界を旅し、ファインダーを通して古代より綿々と続く、人と自然との関わりを翻訳し続けている。作品集に「SMOKE LINE」、「Storm Last Night」(共に赤々舎)、「Elbias Forest」、「やがて、鹿は人となる/やがて、人は鹿となる」(共にhandpicked) など。大阪芸術大学客員教授。



野口里佳 写真家

1971年生まれ。埼玉県さいたま市出身。沖縄県那覇市在住。1992年より写真作品の制作を始め、以来国内外で展覧会を中心に活動。近年は現代美術の国際展にも数多く参加している。東京国立近代美術館、国立国際美術館、グッゲンハイム美術館、ポンピドゥセンターなどに作品がコレクションされている。



お問い合わせ・提出先

ガーデン・ガーデン

株式会社リクルートホールディングス
〒104-8227 東京都中央区銀座7-3-5 ヒューリック銀座7丁目ビルB1F
TEL: 03-6835-2270
HP: <http://rcc.recruit.co.jp/gg/>
twitter: @guardiangarden
Instagram: guardian_garden
Facebook: facebook.com/guardiangarden.tokyo #1_WALL

Guardian Garden

RECRUIT

ガーデン・ガーデンは、株式会社リクルートホールディングスが運営する、若い才能を発掘し、新たな表現の可能性を追求するコンペティションギャラリーです。

